

公益財団法人 四万十川財団
TEL 0880-29-0200
FAX 0880-29-0201
Mail office@shimanto.or.jp
URL <http://www.shimanto.or.jp>



↑内子町の町並み保存地区



↑「石畳の宿」での昼食の様子

■愛媛県 内子町 グリーンツーリズムへの取組

グリーン・ツーリズムという言葉をご存知だろうか。グリーン・ツーリズムは、農山漁村を舞台とし、地域の自然・文化に触れながら余暇活動を楽しむ比較的新しいツーリズムで、地域資源を活かしたものであることから、地域活性化策の一つとして注目されている。

四万十川流域でもグリーンツーリズムには力を入れているが、高知県のお隣、愛媛県は内子町もグリーンツーリズムに取り組んでいる。

内子町と言えば、歴史的建造物が多く残る美しい町並みを思い浮かべる方も多いのではないだろうか。内子町の町並み保存地区は昭和 57 年に重要伝統的建造物群保存地区に四国で初めて選定されており、江戸末期から明治時代に造られた建造物が

今もなお数多く残る貴重な場所で、愛媛県を代表する観光スポットである。町並み保全の活動は以前から活発に取り組みられてきたが、その他のもっと身近にある地域の景観や文化、地域資源の保全の価値に気づき、近年これらを保全する取り組みとしてグリーンツーリズム（村並み保全）にも力を入れている。

内子町には溪谷や川などの自然はもちろん石畳の景色など内子町ならではの景色や文化、歴史が多くあり、これらを活かしてグリーンツーリズムに取り組んでいくことで、地域資源・村並みを保全することに繋がっていくという。実際に内子町では鮎漁や鰻漁、川下りなどを体験することができ、グリーンツーリズム体験施設や宿泊施設もあり、利用者も

確実に増加しているという。

四万十川すみずみツーリズム連絡会で視察に訪れた「石畳の宿」もグリーンツーリズム宿泊施設の中の一つであり、地元食材を使ったお料理や、趣のある古民家でゆったりとした時間を楽しむことが出来る宿だ。今回は食事のみだったが、山菜の天ぷらや焼き魚などいかにも地元料理といった内容で、とっても美味しかったので、これは皆さんにもぜひ味わっていただきたい。

町並み保存から村並み保存へと目標を広げた内子町は、現在山並み保存にも取り組んでいるようだ。これから内子町の地域の保全活動はさらに活発になっていくだろう。

